

看護学部

◎ 看護学科の3つの方針

≪看護学部看護学科が目指す人間像≫

人に対する思いやりを持ち、対象となる人々が、その人らしく地域で生きることを支えるために必要な倫理観、科学的に裏付けされた専門知識と判断力を身につけ、関連職種と連携しながら、人々の生活を支援できる人。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

大学設置基準にもとづき、本学が定める履修要件に沿って126単位以上を修得し、以下の観点別能力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与する。

[知識・理解]

- ① 看護学を核として、地域で生活する人々を支援するために必要な基盤である「共通教育科目」「いのちの科学」「保健医療福祉介護の仕組み」に関する知識について総合的に理解している。

[思考・判断]

- ② 高い倫理観に基づき、対象となる人々の生命の尊厳と権利を擁護できる。
- ③ 多様な対象の特性や状態を理解したうえで、科学的な知識に基づいたアセスメントができる。

[技能・表現]

- ④ 対象となる人々や関連職種との信頼関係を築くことのできるコミュニケーション能力を身につけている。
- ⑤ 対象となる人々や家族の健康課題を把握し、その人らしく地域で生きるために必要な資源について考え、科学的根拠に基づく看護を実践するための能力がある。
- ⑥ 健康の回復、保持増進、疾病予防のために必要な看護援助が実践できる。

[関心・意欲・態度]

- ⑦ 保健・医療・福祉・教育分野のチームの一員として、主体的に活動できる姿勢が身についている。
- ⑧ 看護専門職として学び続け、看護の発展や地域社会に貢献しようとする姿勢が身についている。

教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

- ・ 看護学をカリキュラムの核に据えつつ、看護実践に必要な「共通教育科目」「いのちの科学」「保健医療福祉介護の仕組み」の科目を配置する。
- ・ 入学直後より地域に暮らす人々との交流を通して地域を理解し、あわせて看護専門職としての基本的態度を養う体験型科目を設定する。
- ・ 関連職種との協働・連携に求められる能力を育成する科目として「関連職種連携論」「関連職種連携演習」「関連職種連携実習」を配置する。
- ・ 将来のキャリア形成を見通して履修できるよう、「看護統合学領域」に「看護管理・教育学群」「看護発展群」を配置する。
- ・ 看護の発展に求められる学問探求の姿勢を育成するため、「看護探求群」を配置する。
- ・ 看護専門職として求められる資格（保健師、養護教諭免許など）に関する科目を配置する。

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

看護学部では、対象となる人々が地域でその人らしく生きることを支える看護専門職を育成することを目的とし、次のような能力、意欲、適性をもった学生を受け入れることを基本方針とする。

- ① 人間や健康およびそれを取り巻く地域社会に関心をもった思いやりのある人
- ② 物事を探求する意欲があり、生涯にわたって学び続けたいと思う人
- ③ 将来、看護職として地域社会に貢献したいと考えている人
- ④ 大学教育に対応するために必要な基礎学力を備えている人